令和 8 年 7 月 6 日

脳神経内科学講座教育・研究組織に関する提言

１．講座のあり方と方向性

脳神経内科学講座は、神経学を基盤とする教育・診療・研究を推進し、神経変性疾患や認知症、脳血管障害をはじめとする脳神経疾患に対する高度な医療を担うとともに、地域医療を支える専門医の育成と当該分野の発展に寄与することを目的とする。そのため、先進的な研究の推進と人材の確保・育成が求められる。

２．診療

青森県を中心とする地域全体の内科診療体制を構築し、本学附属病院における脳神経疾患診療の中核となり、関連診療科および地域医療機関との連携の下に高度かつ先進的な医療を実践するとともに、その発展に貢献することが求められる。

３．教育

卒前・卒後教育の全ての段階において神経学教育の充実を図り、幅広い知識と高い臨床能力を有する医師の育成に積極的に携わることが求められる。

４．研究

神経変性疾患、認知症、脳血管障害をはじめとする脳神経疾患に関する学理及びその応用の研究を推進することが求められる。

５．社会活動

専門医の育成を含め、地域医療機関との連携を強化し、青森県を中心とする地域全体における脳神経内科医療提供体制の維持・発展に積極的に貢献することが求められる。

６．その他

脳神経内科学講座の構成員として第一に求められるものは、卓越した臨床能力と、それを追求する真摯な姿勢である。特に教授には、附属病院脳神経内科のリーダーとして、講座・診療科の機能充実を果たすとともに、教育・研究・診療活動を統率できる人物が求められる。また、学外の医療機関との連携を通じて、青森県を中心とする地域全体の地域医療の発展に貢献できる人材であることが望まれる。

脳神経内科学講座教育・研究組織提言委員会
石橋恭之（委員長）、横山良仁（副委員長）、水上浩哉、
三上達也、櫻庭裕丈、藤田征弘、掛田伸吾、斉藤敦志